

豊田市長 様

提 言 書



令和6年8月28日

保見地域会議

保見地域会議委員名簿

50 音順・敬称略

氏名	ふりがな	自治区	備考
大田 浩子	おおた ひろこ	保見ヶ丘六区	
柏本 福勝	かしもと ふくかつ	八草町	
加納 和茂	かのう かずしげ	田粳町	
加納 賢次	かのう けんじ	田粳町	
杉野 秋吉	すぎの あきよし	保見緑苑	
鈴木 薫	すずき かおる	篠原町	副会長
鈴木 康之	すずき やすゆき	東保見町	
田口 浩之	たぐち ひろゆき	保見町	
林 義勝	はやし よしかつ	伊保町	
三宅 完治	みやけ かんじ	広幡町	
村瀬 一也	むらせ かずや	貝津町	
山田 貴啓	やまだ たかひろ	大畑	
山本 昭治	やまもと しょうじ	広幡町	会長
吉村 迅翔	よしむら しゅんと	県営保見	

提言 まちぐるみ 気づき つながる健康づくり

1 背景・課題

健康の実現は、元来一人ひとりが主体的に取り組むべき課題です。しかし、一人ひとりが健康であり続けるための方法や資源を選択し、生涯を通じて健康増進に努め、自分の健康を維持することは現実には難しいことです。

そのため、個人の力だけではなく、学校・地域など社会全体の力を合わせて住民の健康を実現することが重要です。以上のことから保見地域では、まちぐるみの健康づくりを目指す「まちぐるみ 気づき つながる健康づくり」について提言します。

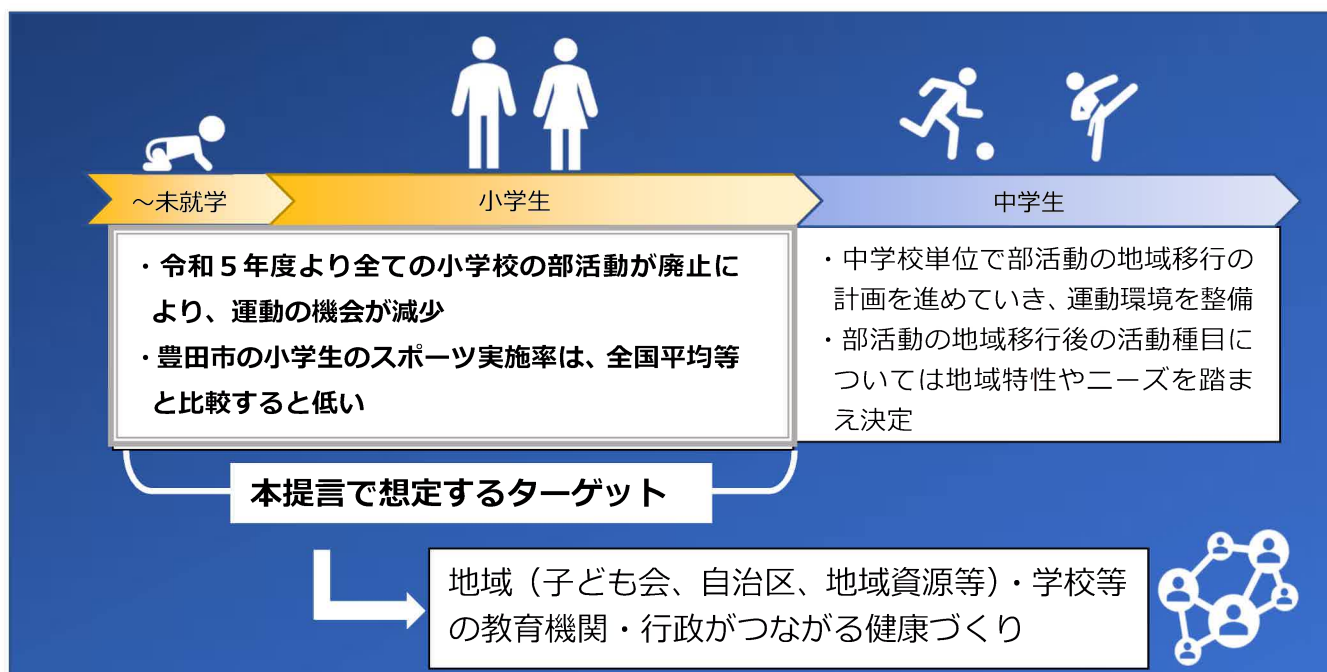
(1) こどもの健康に関して



豊田市における小学生のスポーツ実施率は全国平均と比較し低い傾向にあります。保見地域に限らず令和5年度より市内の小学校での部活動が全面廃止となり、小学生の運動機会が減少しています。このような背景から、こども園や小学校、子ども会などと協力し、こどものうちからの運動習慣を身につけることが大切なことだと考えます。

保見中学校においては、生徒数の減少等により部活動が減少し、運動機会が減少しています。体力テストの結果を見ると、市平均を上回る種目が少なく、立ち幅跳び、20mシャトルランの種目で平均との差があることから、全体的な体力を高める仕掛けが必要と考えます。

中学生に関しては現在、中学校単位で部活動の地域移行の計画により、運動環境の整備を進めています。この提言においては小学生以下のこどもの運動環境の整備を課題と考えます。



(2) おとな（高齢者）の健康に関して



保見地域における国民健康保険特定健康診査の受診率は市平均に比べて低く、男女ともに「日ごろ運動をする習慣はなし」や「身体活動なし」という回答が市の平均より多いことがわかりました。この問診結果から保見地域は、他地域より相対的に健康に対する意識が低い傾向にあります。【図1】【図2】

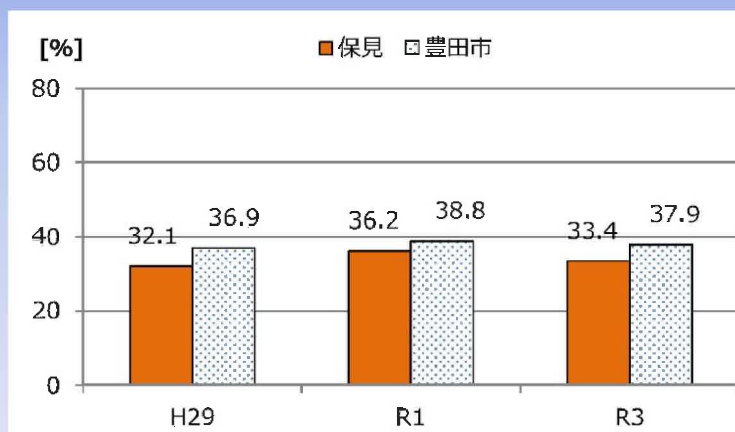
また、全国平均ではありますが、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の入所者の平均在所・在院期間は、それぞれ約3.5年、約1.3年、約10か月となっており、長期間の入所となると介護等に負担がかかることから、元気な時から健康寿命を延ばして介護期間を短くすることが必要と考えます。【図3】

さらに、保見地区の自治区や関係機関を対象に実施した健康づくりに関するアンケート調査や、保見中学校区地域健康カルテ（令和4年度概要版）の結果を見ると、日ごろから運動できる場所や、体力測定や健康チェックに関するメニューを提供できる機関はあるものの、自治区・地域活動への参加状況から、実態としては活用されていないことがわかりました。

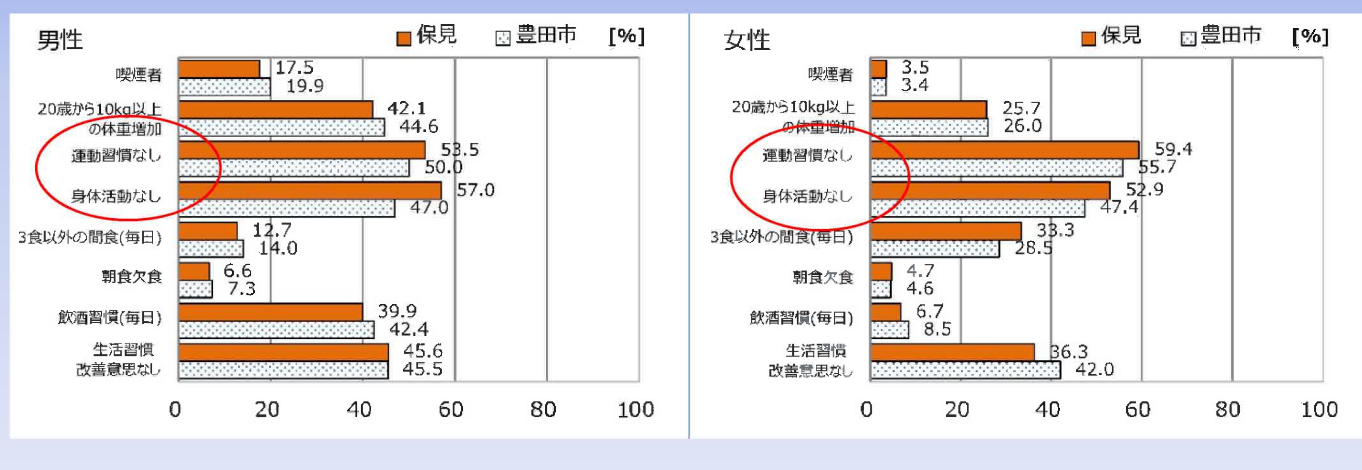
【図4】【図5】

<おとな（高齢者）の健康に関して資料>

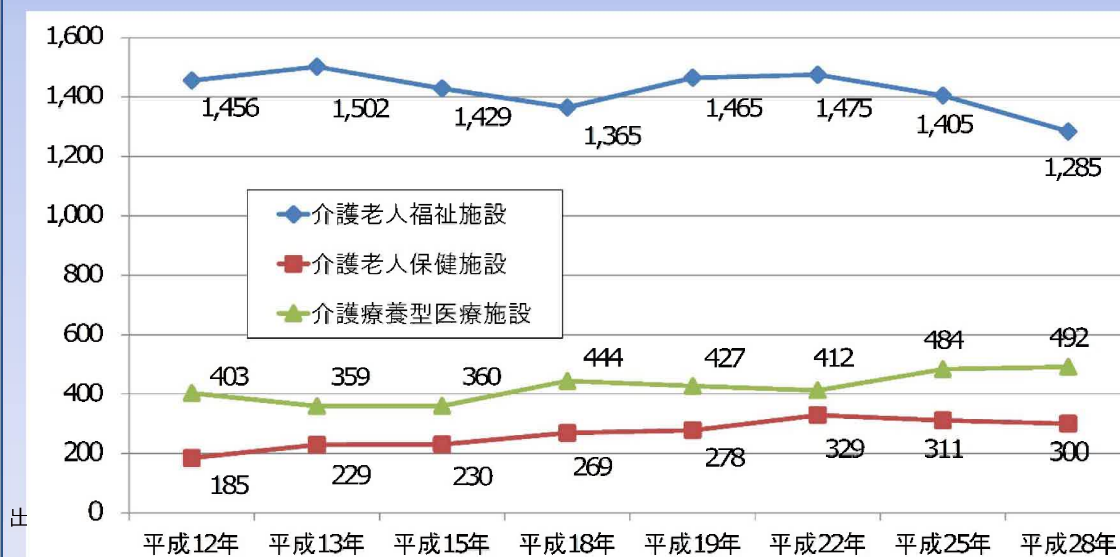
【図1】国民健康保険加入者 特定健康診査受診率（令和3年度）



【図2】国民健康保険加入者 特定健康診査問診結果（令和3年度）



【図3】介護老人福祉施設の平均在所・在院日数



出典：【図1】【図2】保見中学校区 地域健康カルテ 【図3】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」



<用語の説明>

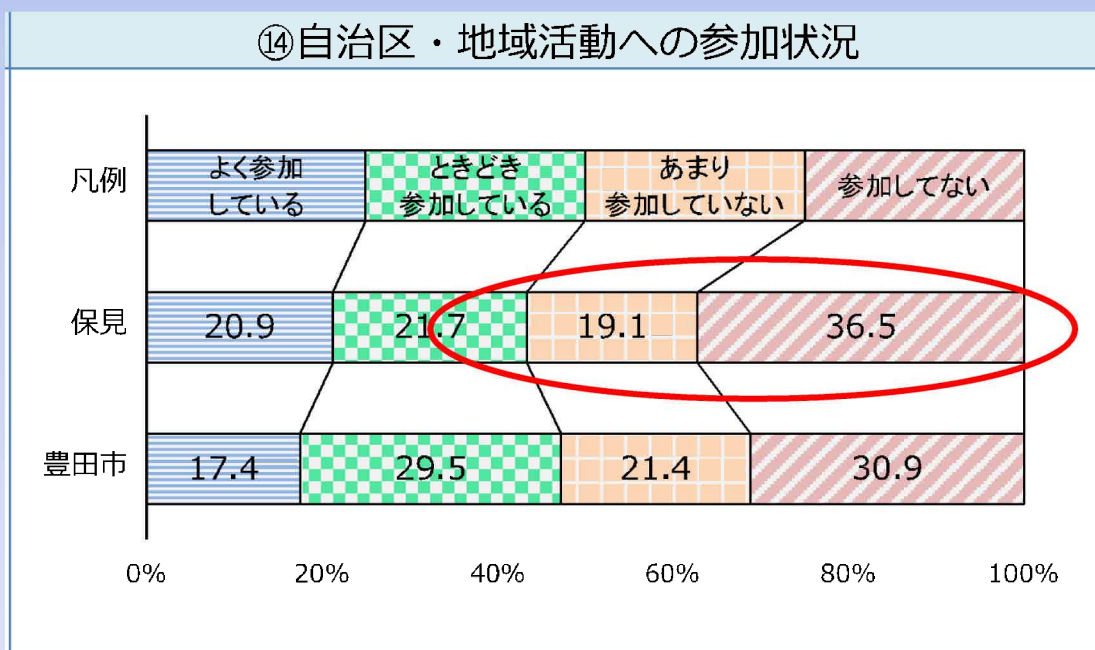
- 身体活動なしの定義…「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか」に「いいえ」で回答した割合
- 介護老人福祉施設…特別養護老人ホーム。日常生活で常に介護が必要な人で、在宅での介護が困難な場合に入所する施設。
- 介護老人保健施設…老人保健施設。病状が安定期にあり、看護や医療的管理のもとで必要な介護サービスを受ける施設。
- 介護療養型医療施設…長期にわたり療養が必要な人が入所する施設。

【図4】健康づくりに関するアンケート調査

基本理念	基本目標	取組方針	取組内容	該当事業
まちぐるみ 心とからだの 健康づくり	健康への関心を高める	広報・啓発活動	・健診受診勧奨（健診、がん検診、歯科検診） ・身近な場での健康チェック、体力測定 ・アプリやその他ICTの活用ほか	ふれあい祭りでの健康チェック(5) 健診、がん検診、歯科検診（2）
		健康教育の充実	・学校、交流館や区民会館等での講演会や講座	講話(2)・出前講座（3） 豊高フェスティバル(1)
	健康づくりの取組を持続する	運動の習慣化	・ウォーキングイベント ・ラジオ体操・体操教室 ・マレットゴルフ・ポッチャほか	マレットゴルフ(12)、グランドゴルフ（2） ゴルフクラブ(1)、ゲートボール（1） 体操教室（ヨガ教室含）（4） 卓球（2）、ソフトボール（1）ポッチャ（1）
		食生活の改善	・栄養士等による「野菜1日350g以上」や減塩に関する講座ほか	
		お口の健康	・歯科衛生士等による「むし歯・歯周病予防」や「口腔体操」に関する講座ほか	出前栄養講座（2）
		介護予防教室の充実	・元気アップ教室 自主グループ ・地域包括支援センター 介護予防教室	元気アップ教室自主グループ（10） 地域包括支援センター 介護予防教室（3）
	健康づくりの輪を広げる	仲間づくりの推進	・子育てサロン ・ふれあいサロン ・交流の場の周知やつくるための支援ほか	麻雀（マージャン） お寺カフェ、おしゃべり会、カラオケ 囲碁・将棋、ふれあいサロン 銭太鼓愛好会、踊り部 習字教室、絵手紙教室、大正琴 お囃子、木遣り
		まちぐるみでの健康づくりの推進	・健康づくりを応援する人を増やす、知ってもらう取組 ・企業や団体等と連携した健康づくりの推進ほか	企業や団体等と連携した健康づくり（4）

出典：【図4】健康づくり豊田21計画（第三版）を基に地域会議で行ったアンケート 実施時期：令和5年10月 対象：自治区、高齢者クラブ等27団体

【図5】自治区・地域活動への参加状況



出典：【図5】保見中学校区 地域健康カルテ（令和4年度概要版）

2 解決方針

こどもの健康に関しては、おとなになってから生活習慣を急に变えることは難しいため、小中学校などの教育機関と連携してこどもの年代から健康が大事だという意識付けをさせる取組を実施することが必要と考えます。

おとな（高齢者）の健康に関しては、健康寿命を延ばすため、自身の健康への関心を高めるきっかけや仕掛けづくりを展開する必要があると考えます。

3 期待する効果・取組内容

地域・学校・行政が一体となってつながる健康づくりに取組ことで、保見地区に住むこども世代からおとな（高齢者）までの健康増進を実現することが期待できます。そのため豊田市においては、本取組に対する支援・協力をお願いします。

まちぐるみ 気づき つながる健康づくり

（１）こども世代からの健康づくり



こども世代の健康推進として、教育機関と連携し、健康への関心を高めるきっかけや仕掛けのアイデアをこどもたちから募り、こども主体の健康づくりを実施します。

- ① こどもたちのアイデアを生かした健康づくり
- ② こども会等の活動による体力づくりや健康づくり
- ③ 親世代への波及効果を狙った健康づくり

（２）おとな（高齢者）の健康づくり



おとな（高齢者）の健康推進として、以下の取組を図り、日頃から健康への関心を高め、健康寿命を延ばす効果を狙います。

- ① 日常的に体を動かす仕掛けづくり
- ② 身近で気軽に運動や健康チェックができる機会の提供
- ③ 健康づくりに関する情報発信の強化

（３）地域資源の活用による健康づくり



保見地域区にある企業や大学をはじめとする教育機関などの地域資源を活かし、こどもからおとなの健康の増進を狙います。

(1) こども世代からの取組	
地域	①学校等から出てきた提案の実践 ②子ども会等での運動習慣や、健康づくりに関する企画の検討・実施 ③運動習慣や健康への関心を高める取組のこどもから親世代への展開 など
行政	①こども園や小学校等での運動習慣や、健康づくりに関するアイデア募集の支援等 ②子ども会等への働きかけ・調整 ③こども世代から親世代へ健康づくりの展開支援 など

(2) おとな（高齢者）の取組	
地域	①自治区での元気アップ体操やラジオ体操の実施、国民健康保険特定健康診査の受診の呼びかけ ②ウォーキングや各種会合前後での簡単な運動や健康チェックの実施 ③各自治区のマレットゴルフ場を活用した大会の開催 ④取組・イベントについて、各種地域団体へ周知・参加 ⑤地域の休耕地等の活用による体を動かす仕掛けづくり など
行政	①気軽に健康チェックができるメニューの提供等 ②ウォーキングの実施支援、コースの紹介等 ③マレットゴルフ大会の実施支援、参加賞の提供等 ④地域の取組イベントについて、実施支援等 ⑤地域の休耕地を活用している協力可能な団体への橋渡し等 など

(3) 地域資源の活用による取組	
ひと	①大学の教授やボランティア（中京大学、愛知工業大学） ②保見地区コミュニティ会議 ③NPO、市民団体、地域学校共働本部、子ども会（6団体） など
もの	①教育機関 ・こども園等（伊保こども園、大畑こども園、保見ヶ丘幼稚園、東保見こども園） ・小学校（伊保小学校、大畑小学校、西保見小学校、東保見小学校） ・中学校（保見中学校） ・高校（豊田大谷高校） ・大学（中京大学・愛知工業大学） など

	②地域の施設等 ・地域のマレットゴルフ場 など ③民間施設 ・テニス（名古屋グリーンテニスクラブ） ・ゴルフ（東名古屋カントリークラブ、さなげカントリークラブ） ・フットサル（フォックスタウン） ・モータースポーツ（さなげアドベンチャーフィールド） ・総合運動施設（トヨタスポーツセンター、けんぽスポーツの森） など
かね	①保見地域課題解決事業 ②わくわく事業補助金 など

【共働の関係図】

